

# 学生らVR、ARゲーム制作 大阪電通大、京まふに出展

vol.374 - 2017.9.25

京都市勧業館（左京区）で16～17日に開催された「京都国際マンガ・アニメフェア2017」（京まふ）に、大阪電気通信大が出展した。ブースでは仮想現実（VR）や拡張現実（AR）を利用したゲームを体験でき、多くの人でにぎわった。

ゲームを作ったのは総合情報学部デジタルゲーム学科の学生。今回はVRをテーマに約6カ月間ゲーム制作に取り組んだ。ブースではVRゲーム「King of Money」とスマホ向けARゲームアプリ「AR Hungry Ghost」を体験できた。

「King of Money」は人々にお金をばら撒くゲームだ。プレイヤーは目の前のテーブルからお金を掴み取り、走り寄ってくる人に当ててスコアを競う。ゲームを案内した鈴木祐さん（大阪電通大・修士課程）は「仮想現実なのでお金をばら撒くという現実ではできないことを体験してほしい」と話した。

「AR Hungry Ghost」は同大の先端マルチメディア合同研究所と共同制作したゲームア



大阪電気通信大のブース（撮影＝馬場達也）



VRゲームを体験する来場者（撮影＝馬場達也）

プリ。スマホやタブレットのカメラを壁や窓などに向けるとお化けが現れ、タップで弾を撃ちお化けを攻撃する。お化けが壁や窓に隠れるといった立体的な表現が、他のARゲームにはない大きな特徴だ。ブースではスマホを専用の銃に取り付け、登場するお化けをまるで銃で倒すかのような工夫がされていた。

今回の取り組みに関わったデジタルゲーム学科の魚井宏高教授は「約6カ月という短い期間で制作したことは学生たちにとって良い経験になったと思う」と話す。また21～24日まで東京で行われた最新のゲームが展示される「東京ゲームショウ2017」にも出展し、国内企業だけでなく海外からも注目を集めている。（聞き手＝馬場達也）

配信・発行

**UNN関西学生報道連盟**

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24 ダイニホンビル4階  
 電話 06 (6307) 1315 FAX 06 (6829) 6353  
 メール info@unn-news.com ウェブサイト http://www.unn-news.com/

UNN関西学生報道連盟は

京都大学CLOCK編集部	同志社大学PRESS編集部
大阪大学POST通信社	NEWS立命通信社
神戸大学ニュースネット委員会	京都女子大学藤花通信編集部
関西大学タイムス編集部	神戸女学院大学K.C.Press編集部
関西新月通信社	

週刊FOCUSは毎週月曜日発行です

の9団体でつくる学生報道団体です